

# 10月のお便り



（さび座の女、天びん座の男  
共に10月生まれ、いく？）

ちょっと模様替えをしました。入口近くに丸テーブルを持ってきて、そこに生薬見本を並べてみました。よく知られている「葛根湯」の配合生薬を7つ。配合量の多い順に、(葛根) (麻黄ツボ) (大棗ツボ) (生姜ツボ) (桂皮) (芍薬ツボ) (甘草ツボ)。よろしければ、手にとって、7つをあげて、香りをかいでみて下さい。ゆえに、葛根湯は、かぜの引きはじめで、おなじみですが、首おじのこり、肩こり、それに伴う頭痛など、良夜が生のある漢方処方です。落語にどんな患者さんが来ても「葛根湯」をばあ医者のお話があります。付き添いの人にもついでに「葛根湯」という笑い話ですが、絶妙な配合の漢方です。

先月書きとびましたが、9月は世界アリュイバ(2-月間、障)いた方もいらっしゃると思います。新薬の開発のニュースもありました。今や認知症の6割近くがアリュイバ型認知症、ビ-小体型認知症も含めると、唐近くにのぼります。この2つにパーキンソン病も加えると発生機序は共通しています。脳内にたん白質(ゴミ)が異常にたまって、神経細胞を壊し様々な症状があらわれます。認知症は寿命が伸びたからこの心配事のひとになりました。紹介するのは、救心製薬「月経活精のうかせい」 頭の換気扇、頭の整理整頓、いろいろ気分の落ち込み改善に頓服として使われることが多かったお薬です。じっくり服用して認知症の改善・予防、パーキンソン病の予防・改善につながる薬理作用が明らかになりました。「あ、ちょっとおかしい?」「今までと何かちがう?」「やる気がなくなつた?」など早い段階での服用で効果が感じられるようです。配合されている羚羊角(レウカク)等の重鉱物生薬は、高貴薬の分類に入り、副作用の心配なく続けられるのが利点です。

## （今日のてせ袋）夢・健茶 ゆめけんち

三七人参の良さは十分わかってはいますが、かなり高価。なので毎日無理なく続けて健康維持に役立つものをもと、三七人参「夢・三七」のメーカーが新しくお茶タイプを作りました。湯のみ茶碗なら、1袋で2杯分はあります。抹茶のおうです。リラックスさせる作用があり、目尻をじまらせる成分はありません。どうぞ試してみてください。 (ちょっと溶けにくい、苦いかな...)

